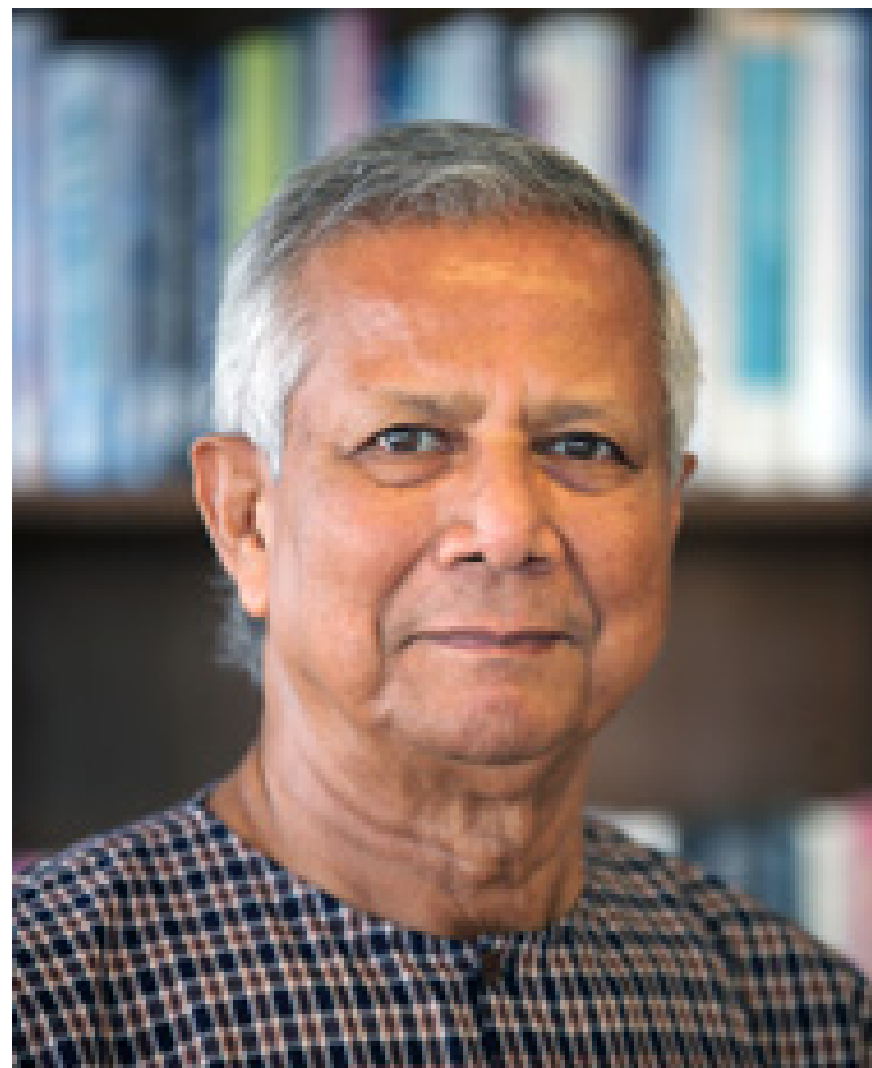


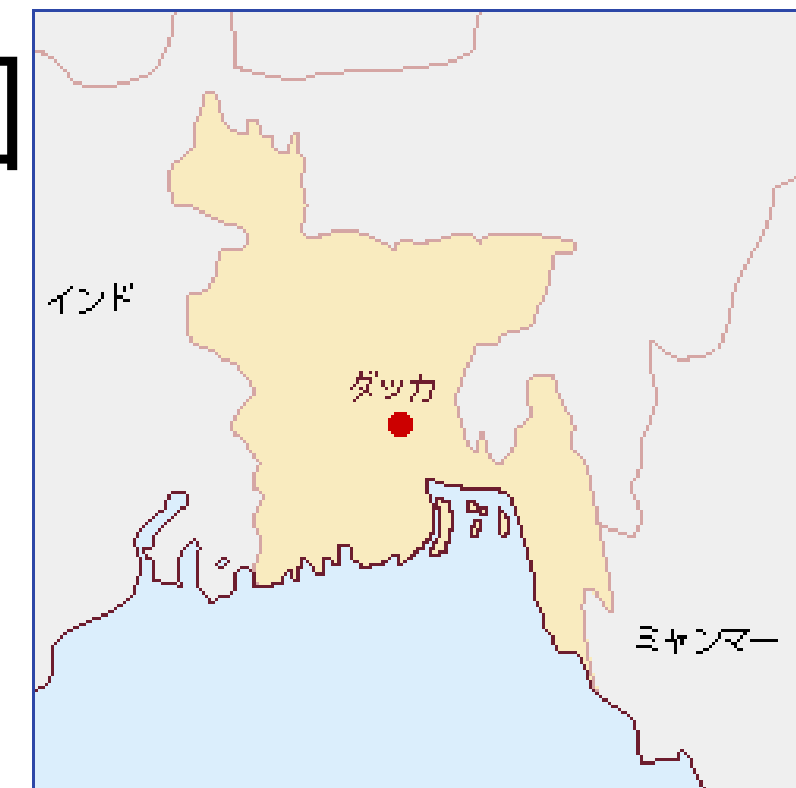
ムハマド・ユヌスさんについて



- バングラディッシュの人
- ノーベル賞の授賞者(2006年ノーベル平和賞)
 - 経済学者
 - グラミンバンクという銀行を設立した
- バングラディッシュの貧困をなくしていく仕組みを作った



バングラデシュ人民共和国 People's Republic of Bangladesh



- バングラディッシュは1970年代に独立した国（1971年にパキスタンから独立）

- 飢饉、貧困に直面していたバングラディッシュ

- 多くのバングラディッシュ人が地元の高利貸しに借金をしていて、
貧困がドンドン拡大・蔓延していった



- そんな人たちに無担保、信頼だけでお金を貸す



- ・ 当時、アメリカで経済学者として生活していたユヌスさん
- ・ 自分のやってきた経済学では貧困にあえぐ故郷の人々を救えない、役に立っていないと打ちひしがれる

- ・ 母国に帰り、悩み考え、銀行の在り方に疑問を持つ
 - ・ 銀行は、なぜ貧しい人たちにお金を貸さないのか

(お金持ちにはお金を貸すけど、お金が無くて本当に困っている人には融資をしない)

担保(信用)が取れない

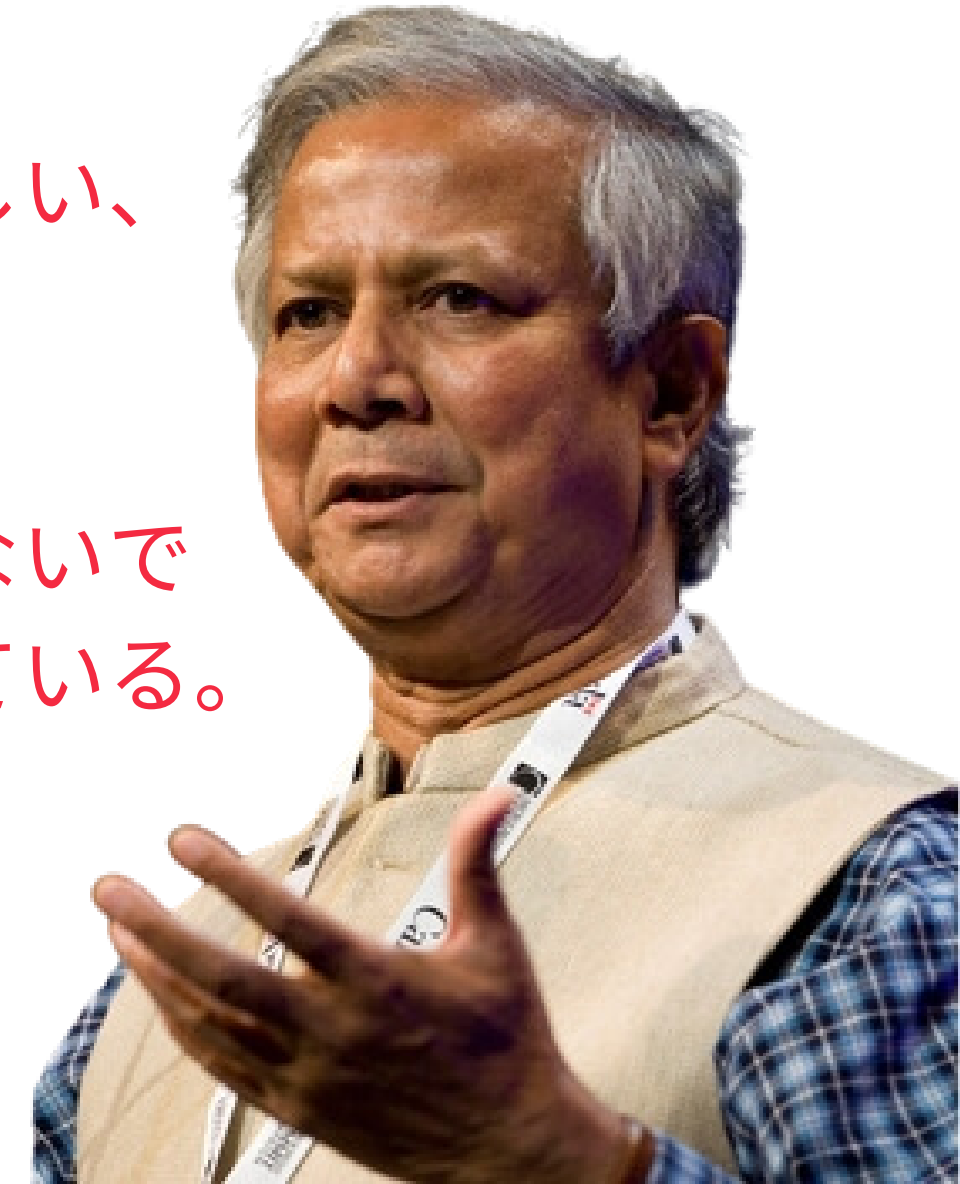


でも...銀行はビジネスですから...

なんで貧しい人々に貸さないのか？

それは銀行の仕組みがおかしい、
やり方がおかしい

お金がない人にお金を貸さないで
お金がある人にお金を貸している。
これは本末転倒である



その、ビジネスの構造がおかしいのだ



そして、グラミンバンクというものをつくる

- 人間には無限の可能性がある、その能力を引き出していくのが正しい銀行の在り方だ
- お金を借りた人々が企業をしていく。商売を始めたり仕事を作っていくことによって社会を活性化していく、そういうことが銀行の役割であるはずだ
 - なのに、既存の(経済)システムは、人々の能力、可能性を奪う方向に進んでいる人間が持っているクリエイティビティを(既存の)会社組織とか経済システムは奪ってしまっている
- お金という(経済の)原動力を提供していくことによって、社会が(世の中が)活性化していく人々の能力が開花していく仕組みを作らなければいけないんじゃないか



- **担保はとらない**
- **信頼というものをベースにお金を貸していく**

ユヌスさんは言います

- ・ (社会的な活動をする)人間というものの在り方が、現在の資本主義は間違っているのではないか
 - ・ みんな人間であることを忘れている
 - ・ 現在の資本主義社会で人間は利己的になっている
自分の利益を最大化する、そんな目的意識で社会活動を送っているけれども果たしてそういうことが人間の本質なのだろうか…
 - ・ 人間はお金を生み出すロボットではない
 - ・ 人間というものは本来、もっと集団の利益のために色々な人生の探求をするものだ
 - ・ むしろ利己的であるということをシステムに押し付けられていて人間性が狭くなってしまっているということが大きな問題ではないだろうか
 - ・ もっとヒトの役に立ったり、まわりと喜びを分かち合ったりすることが (歴史的にみても) 人間(人類)の本質なのではないだろうか
 - ・ そこから(そういった思考で)、現在の経済活動というものを見つめ直していくべきではないだろうか
-
- ・ 現在の経済学の「人間は個人の利益」を最優先にするという考え方は間違っていると否定 (人間は合理的に自分の利益を最大化する為に価値選択をしているという人間観の否定)
 - ・ こういった人間観はそもそも人間観として間違っている
 - ・ 私自身は、利己的であることが一番の美德である世界で暮らしたくはない
 - ・ 本物の人間は資本主義的な人間とは大きくことなるはずだ、と





ケイパビリティアプローチ

- ・ ケイパビリティ：能力(潜在能力)を引き出していくアプローチ
- ・ (バングラディッシュで)貧困に喘いでいる人たちを搾取するのではなくその人たちの可能性、クリエイティビティを引き出すためにお金を無担保で貸し出す信頼ベースでお金を貸す。

(そして地域社会全体が豊かになっていく)



- ・ そうした考え方からグラミンバンクというものを設立して、バングラディッシュの経済を活性化させるという大きな成功を収めた



- ・ さまざまな形でヒトと共にあること、ヒトの喜びが自分の価値になること
 そういうような人間観をもって経済の在り方を見つめ直していく
- ・ ケイパビリティアプローチという観点から新しい経済学を唱え実践している
 ムハマド・ユヌスさんについてでした

※商用・営利目的の資料ではなく、社内発表用の資料です。

※個人的な見解や解釈を含んでいる場合もございますがご容赦ください。